

令和3年度 統一的な基準による泊村地方公会計財務書類

●統一的な基準による地方公会計財務書類とは

村の資産の状況や資金・純資産の動きを従来の単式簿記の方式から、より透明性を図るため、民間企業が行っている複式簿記の方式を用いて、4つの財務書類に表したものです。

平成29年度決算より総務省の定めたマニュアル(統一的な基準)に沿って作成しています。

全国統一したことにより、他の市町村の財政状況と比較が簡単であること。また、表を分析することによって改善点が発見しやすくなるなど、健全な財政運営への効果が期待できます。

各項目の金額を表示単位未満で四捨五入しているため、合計等の金額が一致しない場合があります。

●賃借対照表

「資産の部」では、村が所有している土地や建物・お金などの資産を表示しています。

「負債の部」では、借金をして持っている資産(負債)と「純資産の部」では、純粋な資産(資産-負債)を表しています。

単位:千円

資産の部		負債の部	
公共資産 土地や建物などの固定資産	14,341,933	固定負債(地方債など)	536,821
		流動負債(短期の借入金など)	80,355
投資その他の資産 出資金や基金など	3,815,634	負債の合計 A	617,176
		純資産の部	
流動資金 現金や未収金など	4,502,017	純資産の合計 B	22,042,408
資産合計	22,659,584	負債および純資産の合計(A+B)	22,659,584

●資金収支計算書

村の資金の1年間の増減を3つに分けて表しています。

単位:千円

令和2年度末の資金残高 A	35,946
1 経常的な行政活動に係る収支	452,471
2 投資・貸付金に係る収支	△ 415,028
3 地方債に係る収支	△ 36,596
令和3年度の資金の動き (1+2+3) B	847
令和3年度末の資金残高(A+B)	36,793

●純資産変動計算書

純資産の1年間の増減を3つに分けて表しています。

単位:千円

令和2年度末の純資産残高 A	21,410,276
1 純行政コスト	△ 4,412,392
2 純資産の財源	4,647,374
3 純資産の変動額	397,149
令和3年度の資金の動き (1+2+3) B	632,132
令和3年度末の資金残高(A+B)	22,042,408

●行政コスト計算書

1年間の村の経費を表しています。

単位:千円

1 人件費(職員の給料など)	600,827
2 物件費(維持補修など)	1,730,905
3 その他の業務費用(支払利息など)	7,858
4 移転費用(補助金など)	2,186,996
経常的費用(1+2+3+4) A	4,526,587
経常的収益 B	157,072

単位:千円

経常的な行政コスト(A-B) C	4,369,514
臨時損失 D	97,650
臨時利益 E	54,773
純行政コスト(C+D-E)	4,412,392